

市議会だより

■ 2月臨時議会 ■ 3月定例会 ■ 5月臨時議会
2月8日～9日 3月2日～17日 5月16日～17日

第38号

平成23年6月17日



発行・下田市議会 編集・議会だより編集委員会 〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号 ☎0558(22)2220〈直通〉



よさこい翔華組「よさこい演舞」

東日本大震災復興支援チャリティ
下田元気祭 5/21(土)・22(日)

平成23年6月17日 下田市議会だより

番号	2月臨時会議案件名	審議結果
議第1号	下田市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第2号	平成22年度下田市一般会計補正予算(第6号)	原案可決

番号	3月定例会議案件名	審議結果
議第3号	和解について	原案可決
議第4号	市有財産(建物)の譲与について	原案可決
議第5号	下田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第6号	平成22年度下田市一般会計補正予算(第7号)	修正可決
議第7号	平成22年度下田市公共用地取得特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第8号	平成22年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議第9号	平成22年度下田市老人保健特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第10号	平成22年度下田市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第11号	平成22年度下田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第12号	平成22年度下田市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議第13号	平成22年度下田市水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決
議第14号	平成23年度下田市一般会計予算	修正可決
議第15号	平成23年度下田市稲梓財産区特別会計予算	原案可決
議第16号	平成23年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計予算	原案可決
議第17号	平成23年度下田市公共用地取得特別会計予算	原案可決
議第18号	平成23年度下田市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議第19号	平成23年度下田市介護保険特別会計予算	原案可決
議第20号	平成23年度下田市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議第21号	平成23年度下田市集落排水事業特別会計予算	原案可決
議第22号	平成23年度下田市下水道事業特別会計予算	原案可決
議第23号	平成23年度下田市水道事業会計予算	原案可決
発議第1号	下田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

編集後記

3月11日に発生した東日本大震災で被害を受けられた多くの皆様方にお見舞い申し上げます。多くのお亡くなりになりました。方々のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

観光地下田にも、計画停電や電車の間引き運転、また原発事故による二次被害で、宿泊関係者や商店街などに大きな影響を与えております。

東海地震は何時来てもおかしくないと言われており、他人事とは思えない状況です。

4月25日には、下田市議会議員選挙が挙行され、現職、新人、元職の計14名の議員が誕生いたしました。市議会といたしまして、議員一同が市民の皆様のお心安全な生活が出来ますように頑張ります。

また、この議会だよりも新しく5名の議員が発行することになりました。

市民の皆様に分かりやすくお伝えできるような内容にしたいと考えております。お気づきの点やご要望がございましたら、是非、ご連絡いただきたいと思います。

編集委員会

- ◇委員長 土屋雄二
- ◇副委員長 小泉孝敬
- ◇委員 竹内清二
- ◇委員 岸山久志
- ◇委員 田坂富代

議長に大黒孝行氏
副議長に田坂富代氏



議長 大黒 孝行 氏



副議長 田坂 富代 氏

新議長あいさつ

新しい任期4年間、新しい議会構成で市民の負託に応えていく緊張感と、東日本大震災、福島原発事故と計り知れない厳しい状況下で始まった初議会で、議員多数のご推挙によりまして、議長のお仕事を果たす事になりました。

先の災害を教訓として、市の防災計画の見直しを急務であります。各市区の自主防災の見直し充実も、立地に合ったあり方を再確認して頂き、「この地区から一人の犠牲者も出さない」との強い意志の共有を図って頂き、その上で市全体の防災計画に活かされる事が望まれます。

更に、山積する市を取りまく諸課題に対して、諸先輩が培ってこられた市議会の伝統と格式を損なう事なく、常に改革、改新を念頭に、活発な議論を通して市民に開かれた議会として、市民の皆様が安心と信頼を頂ける議会になるよう努めてまいります。

市民の皆様の率直なご意見はもとより、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

議会とともに

下田市長 石井直樹



この度の統一地方選挙で執行されました下田市議会議員選挙に当たり、市民の皆様のご期待を担われ、めでたくご当選の栄を辱れられた議員各位に下田市を代表いたしまして、心からお祝いを申し上げます。

議会は民意を代表する機関であり、今後も議会議員と行政がこれまで以上に議論を尽くして市政を支える両輪として市民協同で市民福祉の向上と下田市の発展のためにご活躍いただきますことをお願い申し上げます。

さて、わが国の経済状況は、世界的な経済・金融の枠組みの中で円高がさらに進行、厳しい状況下にあります。さらに3月の東日本大震災による地震、津波、

原発事故による甚大な被害は、これまで長年日本が築きあげてきた地震・津波対策、エネルギー政策、産業構造等を根本的に見直す必要がでてまいりました。

下田市におきましても、これらの影響を受け、基幹産業である観光業をはじめ関連業種におきましては、壊滅的な状況に追い込まれています。さらに、人口減少や少子高齢化社会が進む中、市民生活に直結する政策的課題を解決していく必要があり、厳しい状況におかれています。このような中、下田市において「自然と歴史を活かし、やすらぎと活力のある美しいまち」を目指し、第4次下田市総合計画がスタートしました。

市内経済の活性化や市民生活の安全と安心を確保しつつ事業を実施し、次世代に悔いを残さないまちづくりを進めて行かなければなりません。

市民の議会に寄せられる期待が大きい中、議員各位におかれましては、市民の皆様への市政に対する負託に

◎旧澤村邸整備事業

1500万円

蔵の部分を、(故)大久保婦久子さんの作品展示室に改修します。前年度と合せて総額4000万円の大改修工事となります。しっかりとした活用方法を提示する必要があります。



現地視察風景(旧澤村邸)

環境対策課

◎ごみ処理手数料事務

1218万5千円

市指定ごみ袋130万枚の作製費と、60店舗でのごみ袋販売委託費などです。

◎ごみ収集事務

1億3565万8千円

粗大ごみ処理委託1500万円や、リサイクル分別収集業務委託3500万円

などが主な事業項目です。

◎環境対策事務

203万8千円

(株)ワイティービジネスとの間に公害防止協定が締結された事を受けて、ヒノキ沢監視員9人分の謝礼62万4千円を予算計上しました。

産業振興課

◎有害鳥獣対策事業

958万円

緊急雇用対策の重点分野創出分で2名の臨時雇賃金と有害獣被害対策事業補助金や負担金が主なものです。

◎吉佐美頭首工改良事業

1840万円

前年度予算化されながら、事業仕分けの影響などで先送りされた吉佐美大堰の改修工事です。

◎住宅リフォーム振興助成金

500万円

プレミアム付き商品券発行事業補助金690万円ともに3年目の継続事業です。市内経済に少しでも

応え、ご活躍いただきませう。ご期待申し上げます。

市民の皆様方には、今後とも議会及び行政に対しまして一層のご支援・ご協力をいただけますようお願いして挨拶いたします。

下田市議会機構図



議会運営委員会

- ◇委員長 伊藤 英雄
- ◇副委員長 沢登 英信
- ◇委員 小泉 孝敬
- 鈴木 敬
- 岸山 久志
- 土屋 忍
- 増田 清

総務文教委員会

- ◇委員長 土屋 雄二
- ◇副委員長 竹内清二
- ◇委員 伊藤 英雄
- 大黒 孝行
- 田坂 富代
- 森 温繁
- 大川 敏雄

産業厚生委員会

- ◇委員長 岸山 久志
- ◇副委員長 小泉 孝敬
- ◇委員 鈴木 敬
- 沢登 英信
- 藤井 六一
- 土屋 忍
- 増田 清

議会事務局

- ◇局長 土屋 範夫
- ◇局長補佐兼係長 鈴木 邦明
- ◇議事係 長田 朋大
- ◇庶務係 渡邊 亜紀子

一部事務組合

- 南豆衛生プラント組合
- 小泉 孝敬
- 伊藤 英雄
- 鈴木 敬
- 沢登 英信
- 増田 清
- 伊豆斎場組合
- 岸山 久志
- 土屋 忍
- 下田地区消防組合
- 竹内 清二
- 田坂 富代
- 森 温繁
- 大川 敏雄
- 共立湊病院組合
- 土屋 雄二
- 藤井 六一

議会内会派

- 自クラブ(代表) 土屋 忍
- 増田 清
- 清正会(代表) 岸山 久志
- 田坂 富代
- 志盛会(代表) 森 温繁
- 小泉 孝敬
- 竹内 清二
- 政新会(代表) 鈴木 敬
- 土屋 雄二
- 日本共産党(代表) 沢登 英信
- 友 愛(代表) 大黒 孝行
- 民友会(代表) 藤井 六一
- 明政会(代表) 大川 敏雄
- 政和会(代表) 伊藤 英雄

建設課

刺激を与える、喫緊の経済対策です。

◎道路維持事業

2752万3千円

市道維持補修工事2400万円は、前年度比1100万円の増額計上です。

下田市内への緊急経済対策としての意味合いの強い事業です。

◎敷根公園指定管理料

5178万8千円

都市公園施設長寿命化計画策定業務委託

630万円

敷根公園を中心とした公園の長寿命化計画が事業対象です。

◎景観推進事業

124万3千円

市民の景観に対する意識理解を啓発するため、景観条例施行1周年に合わせ、まち遺産マップを作成します。

国民健康保険事業特別会計

◎保険税の徴収状況

一般・退職被保険者国保税8億1809万円、前年度比3531万円の減。軽減税率を6・4割から7・5・2割に改定した結果と考えられます。

収納率も悪化しています(平成23年度現年分87・19%を想定) 滞納額は約5億5千万円にのびります。

◎医療費の給付状況

一般・退職被保険者保険給付費18億9690万円 高額療養費 2億3280万円 合わせて前年比3460万円増となります。

◎特定健康診査・保健指導事業

3183万6千円

特定健診の受診率が低下傾向にあります。

下水道事業特別会計

◎事業費1億3850万円

水道事業会計

◎給水収益

前年度比2864万8千円の減となります。人口減、観光交流客数減、市内経済の落ち込みによって、水道使用量が毎年減少し続けています。

◎建設改良費

3億2819万円

前年度比2602万円の減です。

落合浄水場耐震補強工事1億8千万円が主な事業です。

生涯学習課関係

全国的な少子化の中で難しい。効率的により良いサービスを提供したい。給食センター建設事業

*設計施工一括プロポーザルでやるのか。

経費は安くしたいが、一括にはこだわっていない。JV等下田の業者を入れることも考えられる。

*公設民営なのか直営なのか。

直営で考えたが、現業職の不補充なので、平成25年までに決めていく。指定管理はしない。

*場所の選定について

下水道に接続という事と

配送を考え、淡交荘にした。

*民営の内容

献立・発注は市の栄養士、調理・配送を民営にしたい。



現地視察風景(稲生沢小学校)

産業厚生常任委員会

- 委員長 鈴木 敬
副委員長 岸山久志
委員 藤井六一 土屋 忍
増田榮策 大黒孝行
森 温繁

平成23年度一般会計予算

平成23年は、下田市第4次総合計画のスタートの年です。

平成23年度予算の特出した点は、商工費が前年度比23・7%増となった事です。なかでも観光費は26%増の2億531万9千円となりました。

健康増進課

◎予防接種事業

5820万3千円
新規事業として、子宮頸がんワクチン接種と、ヒブワクチン接種・小児用肺炎

球菌接種の事業が予算化されました。
◎第1次救急医療事業 453万3千円
第2次救急医療事業 3245万5千円

ほぼ前年並みの予算計上です。
第2次救急補助金は、共立湊病院・伊豆下田病院・西伊豆病院に交付されます。

◎共立湊病院組合負担事務 6564万円

国からの交付税算定がベツド一床当たり約60万円から70万円に引き上げられたため、前年度比約1200万円増となりました。

◎健康増進事業

3773万7千円
特定保健指導、各種がん検診、女性特有のがん検診等の委託費です。受診率の向上が課題となっています。

観光交流課

◎下田市観光協会補助金 2349万円

前年度比約500万円増です。観光対策の重要性、喫緊の経済対策の必要性が予算化されました。
◎黒船祭執行会補助金 1320万円

3月11日の東日本大震災発生によって、第72回黒船祭は中止されました。補助金は5月臨時議会において補正されます。

◎伊豆観光圏整備推進事業

負担金 91万1千円
伊豆半島ジオパーク協議会負担金 72万1千円
ともに、これからの伊豆半島広域観光事業の核となるものです。

◎市民文化会館前公衆トイレ整備事業

1466万2千円
ペリーロード公衆トイレ整備事業 2088万3千円
トイレをまちの景観にふさわしいものに改修整備します。観光客の皆様がより楽しくまちを歩いてくれる事を期待します。



土屋雄二



無所属③
土地家屋調査士・総務文教委
院長
・共立湊病院組合・西本郷

鈴木 敬



無所属③
飲食店経営・議会議長
・委員・産業厚生委員
・南豆衛生プラント組合
・一丁目

竹内清二



無所属①
会社役員・総務文教副委員長
・下田地区消防組合
・一丁目

小泉孝敬



無所属①
無職・議会議長
・委員・産業厚生副委員長
・南豆衛生プラント組合
・須原

伊藤英雄



無所属③
社会保険労務士・議会議長
・委員・南豆衛生プラント組合
・西本郷

沢登英信



日本共産党③
政務委員・議会議長
・副委員長
・委員・産業厚生委員
・南豆衛生プラント組合
・吉佐美

藤井六一



無所属③
会社役員・産業厚生委員
・共立湊病院組合
・高馬

大黒孝行



無所属④
無職・議長
・委員・総務文教委員
・吉佐美

田坂富代



無所属③
飲食業・副議長
・総務文教委員
・下田地区消防組合
・一丁目

土屋 忍



公明党③
電気工事業・議会議長
・委員・産業厚生委員
・伊豆斎場組合
・箕作

増田 清



無所属④
会社役員・議会議長
・委員・産業厚生委員
・南豆衛生プラント組合
・大賀茂

森 温繁



無所属⑦
自営業・総務文教委員
・下田地区消防組合
・須崎

大川敏雄



無所属⑨
無職・総務文教委員
・下田地区消防組合
・蓮台寺

議会を傍聴しましょう

◇市議会へのご意見ご要望をお寄せ下さい◇

2月臨時議会

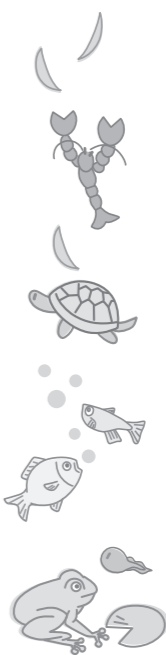
2月8・9日に2月臨時議会が開催されました。平成27年までに公共施設耐震化にともない、今後の建設予定の市庁舎、認定こども園、給食センター、図書館の建設のため、市庁舎に新たな組織（室）をつくり取組む事となり施設整備室を置く事が審議されました。

3月定例議会

3月2日より17日までの16日間、3月議会が開催されました。3月議会は主に平成23年度予算について審議されました。下田市の本年度予算は一般会計、特別会計との合計は168億2千万円の総予算となります。主だった新規事業は、2月臨時議会で審議された市

庁舎、認定こども園、給食センター、図書館の建設事業です。

本年度予算では、下田市の起債残高は平成22年度より約8億円減り約185億になる見込みです。また、板戸公民館の建物を地元板戸区に譲渡についてなどが審議されました。



5月臨時議会

5月16・17日に5月臨時議会が開催されました。東日本大震災の影響で中止となった黒船祭の補助金と、6月1日より廃止となった議員年金について審議されました。

総務文教 常任委員会

- 委員長 田坂富代
- 副委員長 沢登英信
- 委員 伊藤英雄 土屋雄二
- 土屋誠司 増田 清
- 土屋勝利

本委員会に付託された議案は、議第4号市有財産（建物）の譲与について、平成22年度一般会計補正予算（第7号）〈本委員会付託事項〉、議第14号平成23年度下田市一般会計予算〈本委員会付託事項〉等、7件です。

譲与及び3月補正

議第4号市有財産（建物）の譲与について

これは板戸公民館譲与についての審査ですが、議会の議決を得る前に譲与の契約を結んで登記をしており、地方自治法237条第2項に違反したことが明らかに

3月定例議会一般質問

- ◆伊藤 英雄（政和会）
 - ◆鳥獣被害対策について
 - ◆産婦人科と光ファイバーについて
- ◆藤井 六一（民友会）
 - ◆共立湊病院の移転新築問題と市長の政治姿勢について
- ◆沢登 英信（日本共産党）
 - ◆共立湊病院と地域医療について
- ◆ワイティービジネスの産業廃棄物処分場問題について
- ◆公契約条例の制定について
- ◆下田市幼稚園・保育所の再編整備について
- ◆土屋 誠司（至誠会）
 - ◆急激な人口減・財政難であるからこそ公共施設、市貸借地の検討が急務について
- ◆岸山 久志（清正会）
 - ◆より安心して暮らせる下田について
 - ◆市内経済の活性化について
- ◆田坂 富代（自公クラブ）
 - ◆認定こども園・給食センターの一括プロポーザルについて
 - ◆庁舎建設のプロポーザルについて
 - ◆第5次下田市行財政改革大綱及び実施計画について
 - ◆下田市教育委員会自己点検・評価報告書について
- ◆鈴木 敬（政新会）
 - ◆平成23年度施政方針と第4次総合計画について

なりました。（委員会審査時点では、契約無効という事で、所有者を下田市に戻してあります。）

また、議案に面積等の誤りもあり、原案訂正の申し入れがあり、副市長からも一連の不幸について陳謝がありました。当局の事務執行について、強く改善を求めました。【本会議において、以下を付帯意見として付けました。】

市有物件の譲与の議決を得ないまま、平成22年4月1日に譲与の契約を締結されたことが明らかになった。これは、地方自治法第237条第2項に違反するものである。今後、事務執行を進める上で法令を遵守し二度とこのような瑕疵を起さないよう当局に深く反省を求めるものである。

その他一般会計は、不用品が出たための補正と、放課後児童クラブ利用者負担金が、72万9千円の増額となりました。利用者を40人と見込んでいたものが、58人となったためのものです。

平成23年度一般会計予算 〈本委員会付託事項〉

企画財政課関係

◆地デジの状況
また須崎、田牛、一部吉佐美が映らない状況だが、共聴組合で加入するの個人で加入するのか、検討をしてもらっている。5区域で共聴組合をつくる方向である。非課税世帯15、20世帯にチューナーに対する補助金を出す。今後、民生委員総会で、独居の高齢者等に周知させる。

総務課関係

◆新庁舎建設
◆新庁舎建設会議の進め方で進めていく。ワーキング会議をもとに、市民の中から意見を求め（市民会議）反映させていく。建設場所は市民会議の意見を聴きながら、また専門家の意見も求め適地を決めていく。

市民課関係

◆2年間のうち、市内経済に有効な方法で考える。
◆基本構想・計画と市民会議との連動性について
市民会議には業者にも出してもらい、計画をつくる。建設場所はまず先に決め、審議会を立ち上げる。

税務課関係

◆個人市民税、入湯税、都市計画税の減の要因
団塊の世代の退職等による納税義務者の大幅な減
ホテル2軒の閉鎖と入り込み客の減、課税額の減によるもの。

福祉事務所関係

◆シルバー人材センターへの対応
県費は毎年20%カット、将来的には自立を目指す。就労と生きがい対策に分ける。

学校教育課関係

◆認定こども園建設事業
◆送迎バスは運行するのか。運行方法は、まだ決っていない。アンケート調査を行う。
◆設計施工一括プロポーザルでやるのか。
今はまだ答えられない。
◆地域に保育所、幼稚園を残す努力をすべき。
◆地域の行事に参加するなど連携していく。少子化と財政でやむを得ない。
◆何か手を打つとしても、